



手を貸そう

Lend a Hand

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

第 2560 地区ガバナー

…………… 原 信一
会 長 …………… 佐野 勝 栄
会長エレクト …………… 渡 辺 喜 彦(クラブ奉仕 A)
副 会 長 …………… 小 越 憲 泰(クラブ奉仕 B)
幹 事 …………… 荻 根 沢 隆 雄
S A A …………… 杉 山 幸 英
会 計 …………… 渋 谷 正 一

例 会 日 …………… 毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び …………… 三条市旭町 2 - 5 - 10
事 務 局 …………… 三条信用金庫本店
例 会 場 …………… TEL 35 - 3311
事 務 局 …………… TEL 35 - 3477
FAX 32 - 7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web: <http://www.soho-net.ne.jp/rotary/>

(は shift を押しながら“へ” のキーを押してください)

本日の出席会員数	63名中52名
先々週出席率	80.65%

先週のメイクアップ

11/27 燕へ 五十嵐晋三さん 斎藤弘文さん

12/1 三条南へ 細井増雄さん 斎藤弘文さん

12/2 三条北へ 小越憲泰さん

会 長 挨拶



佐野 勝 栄 会長

皆様こんにちは、いよいよ今年も師走に入り、平成15年も終えようとしています。

今月は家族月間です。おととい1日、三条市総合福祉センターにて朝からお昼まで「ウィンター

フェスティバル」が開催されました。これは三条市障害児教育研究協議会の主催で、市内の障害児学級児童生徒の為に、フェスティバルです。クラブを代表して参加してまいりました。大勢の児童の学習発表や、いろいろな催しがあり些少の寄付をさせていただき激励してきました。そして、子供達から一足早くクリスマス・プレゼントを戴きました。貼紙の絵です。決して上手とは言えませんが、障害を持つ子供たちが一生懸命な気持ちを一杯この絵に込められています。この様な障害児を持つ親はいつまでも子供と一緒に生きられません。先立つ身として、どんなに子供の行く末を心配している事でしょう。

わが国は少子高齢化になって行く事だけがクローズアップされ、高齢化社会に向けて、老後のケア施設の充実を叫ばれていますが、むしろこの様な障害をもった若者や子供達の将来を支える機関、施設の充実を図る必要性を強く感じます。この様な機関・施設は国、地方自治体が歩調を取り構築すべきであり、あまりにも動きが鈍く感じます。構築するのは民間ボランティア団体ではありません。老人ケアホームについては昨今、首都圏

では入居金5千万円以上、月額管理費30万円以上もする高級マンションの様な民間施設ができつつありますが、年金暮らしの人にはお呼びでなく裕福層をねらったまさしくビジネスそのものであり、この様に民間施設の殆どは商売として捉えています。生活のゆとりのない人は、週1~2回程の自宅訪問介護でも生活費を切り詰め孤独に一生終えるのが大半でしょう。

今、国会で年金問題が紛糾しています。社会保険料を20%に上げる話ですが、企業負担は半分の10%にも上ります。赤字経営であろうと負担しなければならないので、一律大重税を課されたに等しい話です。今や景気低迷にあえいでいる最中、息の根を止める程の死活問題になろうとしています。そもそも厚生年金福祉事業団は全国各地へグリーンピア津南などの保養宿泊施設を次から次へとつくり、ことごとく失敗に終わり、残るは9兆円もの赤字だけでした。大体、採算度外視、経営した事がない役人の作った物が成功した話を聞いた事はありません。こればかりでなく私共の大事な年金を資金運用し、1991年から赤字がつづき1兆4千億円余りの累積赤字を抱えています。しかし、厚生省の役人は大臣を含め、誰一人として日本道路公団の藤井総裁更迭どころか責任をとらない。国民として年金の将来を考えると不信感がつのも、国民年金などは40%の人が納めていないのもうなずける結果だと思います。まずは、年金保険料を上げる前に、天下り特殊法人の廃止、役人の大幅なリストラを図るのが先決だと思います。

既得権のみを主張し、自分達の犯した罪を償わず、足りなくなるからと国民から吸い上げる事しか考えない彼らに、「お上の言うとおりです」と従順に国民は従うのだろうか？

幹事報告

荻根沢隆雄幹事

いからしの里より

サンタクロース派遣のお願いが届いております。

とき 12月17日(水) PM1:00~

ところ いからしの里

ニコニコBOX

佐野勝栄さん

おととい1日、福祉センターにて市内小中学生障害児生徒の為に「ウィンターフェスティバル」に参加しました。子供達から一足早いクリスマスプレゼントを頂きました。

荻根沢隆雄さん

先日奥能登へ行って来ました。海藻しゃぶしゃぶが大変美味しかったです。

広岡豊作さん

卓話をさせていただきます。お聞き苦しい点、お許し下さい。

渋谷健一さん

結婚60周年をむかえ2人共一病息災で過ごしております。

斎藤弘文さん

先親睦旅行の時の写真を佐野会長よりいただきました。自分の顔とは思えぬ程よく撮れていました。

藤田紘一さん

結婚記念日にお花を有難うございました。2ヶ月遅れで申し訳ありません。

吉井俊介さん

渋谷さんに写してもらった写真、大変よく出来ました。万一の時の役に立ちそうです。

渡辺勝利さん

会社の社内コンペで少しいい事あり。社内では遊び人ということになった。

川瀬康裕さん

11月30日、三条宝生会の一員として演能の職分を果たしました。多くの方々の協賛とご来場に感謝致します。

室星正幸さん

先月は欠席が多くすみません。今月は頑張ります。

平原信行さん

ボックスの席に座りましたらニコニコメンバーが揃っていました。

高森章仁さん

広岡さん、早川さん、今日は有難うございます。カレーをおかわりしました。

青木文雄さん、会田二郎さん、石塚欣司さん、石月良典さん、杉山幸英さん、松谷昊吉さん、丸山行彦さん

広岡さん、早川さん、卓話ご苦労様です。楽しみにしています。

12月3日分 ￥26,000
今年度累計 ￥475,000

ロータリー財団BOX

藤田紘一さん

長女が公認会計士二次試験に合格し、監査法人へ就職しました。

卓 話



広岡 豊作 会員

卓話を命じられてから今日迄頭にあるものは、入会当時から今日迄どのような事があったか思い出してみることになり、どうしても昔話を聞いて頂くようになり申し訳ないと冒頭お詫びしておきたいと思います。

昭和39年11月の入会、当時の新潟井関の水田社長さん、現在北クラブの中條耕二さんと三人一緒でありました。会長さんが、現在三条市長さんのお父さん、高橋儀一郎さん、幹事は一ノ木戸の渡惣さんでありました。当時の入会の型として、どなたが推薦して下さったものが定かではありません。只、会長、幹事のお二人が訪ねておいでになり、母と二人で有難くお話を聞いた場面を忘れることはありません。申し上げるまでもなく、当時三条市内各業界に影響力を持たれた名士の方々が入会されている、三条ロータリークラブに入れて頂ける事を、母が一番喜んでいたように思います。

金子佐武郎さん、五十嵐源吉さん、桑原謙一さんなど、当時素晴らしい面々でありました。その当時私は36才で、周囲の方とはすくなく年の差があ

りまして、日頃話を交わすなどは経験のないものでした。一緒のテーブルに着いた方から必ず声をかけて頂いた覚えがあります。

ロータリー云々など難しいものではなく、ご自分の若い頃のことなど、和やかなものでありました。当時三条きってのプレイボーイの桑原謙一さんが、颯爽とメグロのオートバイに乗っていた写真なども見せて頂きました。その当時感じたことは、毎例会皆さん大変楽しそうにしていって、笑顔と親しそうな様子が特に印象的でした。

入会3年後の昭和42年度～43年度と2回に互ってSAAを命じられました。例会の食事の注文は勿論、事務局の仕事だったと思いますが、食事の出前をさせて頂いた関係で、とうとう1ヶ月分の献立を考えて入口に貼り出して皆さんに見て頂いたのも、思い出の一つであります。

昭和45年、入会6年目で岩井会長の時、幹事を命じられましたが、皆さんご存知の通り岩井先生は何事にも緻密で真面目な方でありましたので、殆ど幹事の事もやってくださったような気がして、申し訳ないと思っています。1977年(昭和52年)藤田会長さんのもとで創立20周年記念が行われました。当時、東京西クラブ会員の藤山一郎さんの歌が聞かれ、講談の室井馬琴さんも来られて、多彩な記念でありました。1978年(昭和53年)入会19年目50才で22代会長に任命されました。藤田先輩から「会長になりなさい」の一言でありました。チャーターメンバーの新田さん、野水さんは特別として、私の時から若い会長になったように思います。幹事には商店街活動に熱心な木村二三郎さんになって頂きました。同じく鶴亀社の渡辺宏策さんからSAA、3人で仲良く楽しくやらせて頂きました。

会長、幹事、SAAの3人は夜の打合せと称して遊ぶ機会も多かったようです。今も未だ忘れることが出来ないのは、当時の私の年頃から、例会日の前夜遅くまで飲み、大事な例会の壇上赤い顔をして会長挨拶をしたことを思い出して「ゾッ」とします。

一番困ったのは例会毎の会長挨拶でした。当時、私の店の前に市がたって『落のとう』が並んであるのを見て出かけたものですから、『落のとう』が目について「季節になりました」など、およそロータリーとはほど遠い挨拶をしてしまったのは今でも淋しいやら、残念やら、であります。会長を終えてからは、その時々のお人柄や仕事振りを拝見して感心したり、ご苦労様ですと心に秘めて来ました。一年毎に変わる会長、幹事のコンビの仕事振りが全会員の楽しみだと私は思っ

ています。

長谷川有美会長さんのご推挙で 2000～2001 年度地区拡大委員長に就任して、村上岩船ロータリークラブ、柏崎中央ロータリークラブの 2 つの新クラブの設立を見たのは、大変嬉しい思い出であります。村上も柏崎も夫々地元で骨を折って準備された方々がいらっしゃったお蔭で、私がその上に乗ったものでありまして幸福を感じています。

以上入会からの経緯を長々と話させて頂きましたが、命じられた卓話の内容がロータリーに入って思うこと、感じるのとありますので、終わりになりましたが少し触れたいと思います。

ロータリーの精神に触れて、少しでも自分もそれに近づけるようにする事は大切ですが、一面長い間に亙って多くの会員の方々のお人柄と活躍振りを、ある時は正面から、ある時は側面から拝見することが出来、大変勉強になりました。「人の振り見て吾が振り直せ」「良い事は真似ろ」等々得るものは沢山ありました。

冒頭申し上げました通り、入会当時先輩方から可愛がって頂いたことを忘れずに、現在の新しい会員の方に気を使って接していく、このことが三条ロータリーの一番良いところだと自身は思っています。新しい会員には常に、三条辨で「なじらね」と声を掛ける気持ちを忘れないようにしたいと思います。

以上私の話の標題をつけさせて頂くならば「ロータリーに感謝して」であります。

早川 昭雄 会員



私が当クラブに入会させて頂いたのは平成 10 年で、野水文治さんと亡くなられた外山一郎さんのお二人のご推薦によるもので、未だ 5 年目の駆け出しです。改めて外山さんのご冥福をお祈り致します。

今年は例会でその月に生まれたものが卓話をするとのことになりましたが、7 月 1 日現在の会員名簿から拾いましたら 12 月生まれは猪口さん、広岡さんと私の 3 名ということでやむなく卓話を引き受けた次第です。因みに少ないのは 7 月生まれの 1 名、多いのは 1 月と 5 月生まれの 9 名です。

年齢から云いますと、昭和 4 年生まれで高齢者中の上位 10 名のなかに入ります。現在は 3 年前、40 数年にわたる宮仕えから離れ浪々の身の年金生活で、会員名簿の職業欄は空欄になっています。

強いて云えば国家からお金を支給されているわけですから国家公務員と言ったところですかね。

最近耳が遠くなり補聴器を掛けていますが、眼鏡とは違い（私は近視、老眼、乱視ですが眼鏡を使用することによりかなり補正されています）補聴器は価格の割合にはあまり役には立たず、単に音が大きくなって聞こえるだけで音域が広がる訳でないで明瞭性に欠けます。マイクを通した声（特に私の様にマイク乗りの悪い声）や多数の人がいる席上での会話、又横から話しかけられる等については特に聞き取り難いです。この為、皆様にご迷惑や不快の念をお掛けしているかと思いますのでこの席を借りましてお詫び致します。この様に高齢の上、無職で難聴者と言うことでこの会に止まっているのは如何のものかと現在思案中です。

私事はさておき、ロータリークラブの諸活動について若干感じたことを、私見を交え述べさせて頂きます。一つは「ポリオ+運動」もう一つは「環境問題」です。「ポリオ+運動」の「+」の意味が最初は分からなかったのですが、後日、麻疹・百日咳・ジフテリア・破傷風・結核を含めての予防接種を推進する計画とお聞きしました。このポリオと言う病気は、ご存じの通り突如として子供達を襲い四肢を麻痺させる恐ろしい病気の一つです。

幸い我が国では昭和 36 年から始まった予防ワクチンの投与のお陰で根絶されたとされていますが、世界各地で多くの子供達がこの病に罹り苦しんでいることを知り R I 本部ではこの根絶に立ち上がり全世界の各クラブに協力を要請しました。我が国の R I もこの要請に応じたのですが、日本人特有な総論賛成、各論反対の論議の中、各クラブの了承を得るまでは紆余曲折があり取り纏めに苦労されたことは、当時のガバナーであられた藤田説量さんからお話をお伺いしました。

何はともあれ、全クラブが賛同し資金が集まり予防ワクチンの手配が出来ましたが、対象地の多くは開発途上国の為輸送手段、頑迷な親に対しての説得、予防医学に理解を示さない為政者、投与する人手の確保等の困難に立ち向かいながら着々と実行に移し撲滅の寸前までいったとのことで、関係者の並々ならぬご努力には頭が下がる思いです。

私が「ポリオ+運動」に関心を持ったのは身近にこの病に罹った事例を見ているからです。素粒子・宇宙線物理学の研究でノーベル物理学賞を受賞された小柴東大名誉教授も少年時代にポリオに罹りましたが、幸い病状は軽かったのですが、足に麻痺が残ったそうです。その為、幼年学校に進み軍人になる希望を捨てざるを得なく少年時代は

忸怩(じくじ)たる思いで過ごされたそうですが、後に学問の道に進み、ノーベル物理学賞受賞の荣誉に浴したのですから何が幸いしたか分かりません。身近の一人の方はもう亡くなりましたが、子供の時罹病し足に強度な麻痺が残り歩行が出来ない状態でしたが口の方は達者でその上頭脳は明晰であられ将棋はめっぽう強く、賭け将棋などして小遣い稼ぎなどされていました。もう一人の方は存命ですが、矢張り小学校に入る前に罹病し四肢に麻痺が残り歩行困難となり言語も多少不自由という強度な後遺症が残りました。ご両親を始めご兄弟、身内の方々は介護に当たり自分たちの生活の一環として捉え、本当に献身的に尽くされている姿には頭が下がる思いがします。ご兄弟が学校から帰ると一緒になって予習復習をし又参考書、書物から知識を吸収しひとかどの知識人になっておられます。ご兄弟は一流会社の役員、アメリカの大学の教授、経営コンサルタントと各分野で活躍されておられ、この方も病に罹らなければそれなりの活躍されたことと思います。

このように病に罹ったばかりに不本意な一生を送らなければならないことは、ご家族を始めご本人の無念さを察するに余りあります。勿論世の中にとっても大きな損失かと思えます。この憎むべき病魔も全世界のロータリアンの絶大の理解と支援により、絶滅まで後一步のところまで来ました。気を緩めることなく成願成就を果たすまで私達ロータリアンはこの「ポリオ+運動」をしっかり支えていかなければなりません。

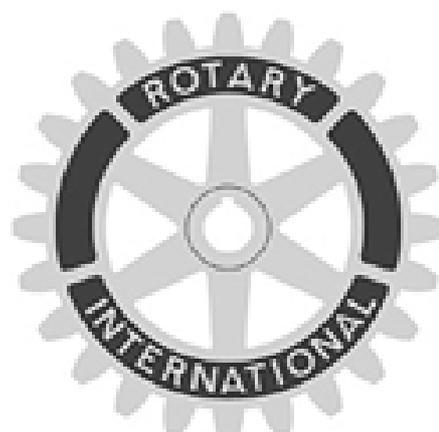
次に環境問題ですが時間がありませんので簡単に述べさせて貰います。地球規模で急速に進んでいる環境汚染の問題は我々人類だけでなくこの地球に生息する全ての生きものにとって大きな問題です。地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、産業廃棄物の投棄、熱帯雨林の乱伐等々問題は山積しています。身近のところを見ましても、かつての清流五十嵐川には魚影はなく、燕が飛び交い、雀が囀り、蝶が舞い、蜻蛉がすいすいと飛び、蛩が乱舞し、甲虫が樹液に群がっている姿等々も、この半世紀にも満たない間に私たちの目の前からすっかり消え去り、今の子供達はこのような情景は知識として頭の中に持っているだけです。

然らば、如何にしたらかつての自然豊かな世界に戻せるかと云うと部分的には出来るかと思えますが全体的には不可能でこれ以上汚染破壊が進まないよう現状維持が精一杯かと思えます。然し、これも難しいことと思えます。

このような事態を踏まえ、我々ロータリアンは小さな事柄でも自分の身近で出来ることから環境汚染防止に取り組んでいかなければならないかと

思います。

これで卓話を終わらせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。



長久の家 餅つき慰問

12月4日(木)午後7時より三条ロータアクトクラブ会員7名、三条ロータリークラブ会員5名にて長久の家へ、三条ロータアクトクラブ主催の「餅つき慰問」に行ってきました。

寮生たちと一緒に餅つきを致し喜んで頂きました。長久の家では、現在28名の寮生が居ります。その寮生たちを所長さんはじめ8名のスタッフで面倒を見ているそうです。ハンディキャップ

を背負った寮生は、一人一人が様々な家庭環境をもっています。既に家族のいない方、あるいは家に帰れない方など恵まれない方がいるそうです。年に1回ではありますが、ロータアクト会員と共に慰問することは、社会奉仕活動の一つとして意義あるものと考えます。アクト会員に来年もよろしくお願い申し上げます。帰り際には、寮生と握手をしてきました。(荻根沢幹事)



お詫びと訂正

編集局の手違いにより会員 猪口さんのお名前に間違いがありました。

関係者の方々にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに右記の通り訂正いたします。

11月26日No.20号

12月のお祝い

結婚記念

【誤】6日 猪口 英雄さん・香代子さん

【正】6日 猪口 英夫さん・香代子さん

次週 例会 12月17日(水)ファミリークリスマス
PM6:30~ 於:VIP

次々週例会 12月24日(水)会員卓話

浅野欣司会員 猪口英夫会員

